

# 消防団は地域を守るヒーロー。

## 戸田市の消防団を紹介します。

### 第1分団 定員 13 名(現団員数13名)

下前、上戸田、下戸田他



第1分団は、東部分署の敷地内に詰所が併設されており、消防職員の皆さんと交流があり、職員とも仲の良い分団です。

日頃から、消防職員の活動や訓練を間近に見ることができるため、刺激を受け、団員も職員の方に負けられないように訓練を重ねています。



山田分団長

新曽、新曽南、氷川町他

### 第2分団 定員 13 名(現団員数 12 名)



駒崎分団長

第2分団は、戸田市の中央を管轄しており、管轄範囲が広く、地域住民との連携訓練や火災出動の回数が多い分団です。団員が集まる機

会も多いことから、チームワークの良い分団です。また、退団者がでて、団員の入団促進に対する士気が高く、直ちに定員の確保に努めるため、消防力の向上に寄与しています。



### 第3分団 定員 13 名(現団員数 11 名)

上戸田、本町、南町他



第3分団は、在団年数が浅く若い団員が多いことから、技術の伝承を行うため、定期的に訓練を実施しています。また、管轄内の神社を利用し、戸田市指定の文化財を火災から保護する訓練を実施するなど、関係者との連携強化を図ることができ、地域住民からも厚い信頼を寄せられています。



鴨下分団長

喜沢、喜沢南、中町

## 第4分団 定員 13 名(現団員数 11 名)



森泉分団長

第4分団は、管内地域出身である40歳～50歳代の団員が多く、地域の事情に精通しているため、地域住民との関係も良好な分団

です。各町会や自治会等に対する救命講習指導や普及啓発活動を積極的に実施するなど、地域に根差した活動を行い、地域防災力の向上に貢献しております。



## 第5分団 定員 13 名(現団員数 10名)

川岸、下前、戸田公園他



第5分団は、他の分団に比べ年齢層が高い傾向にありますが、その反面、経験豊富な団員が多いのが特徴です。管轄内には、

住宅密集地が存在するため、火災発生時には、招集から出動まで時間がとても早く、迅速な消火活動が期待できます。また、女性団員

が4名在籍しており、地域住民からの期待も大きく、普及啓発活動などにも積極的に取り組んでおります。



笹川分団長

笹目、笹目南町、早瀬他

## 第6分団 定員 13 名(現団員数 12 名)



長谷川分団長

第6分団は、平均年齢が47.5歳と、戸田市のなかでは2番目に若く、活動的な団員が多いのが特徴です。地域に密着した消防団であり、

特筆したものとして、管轄内の小学校において、「学校運営協議会委員」に選任されており、社会科の授業に赴き、「安全なくらし(火事をふせぐ)」等の火災予防普及啓発活動を展開しており、地域の方々からも注目されております。



## 第7分団 定員13名(現団員数10名)

美女木、美女木北、笹目北町他



第7分団は、管轄内に荒川や彩湖があり、台風や大雨による影響で荒川や彩湖の水位が上昇した際には、すぐに詰所に集まり、地域住民の避難誘導や避難指示の広報を行う任務があります。また、令和6年度には「埼玉県消防操法大会」に出場し、訓練の成果を、市民の皆様「消防出初式」等で披露しました。これを契機に、分団長をはじめとし、全団員の士気がより一層深まりました。



松本分団長

戸田市全域

## 機能別分団 定員30名(現団員数12名)

機能別分団は、災害現場で活動する基本団とは違い、市民の方々に、火災予防のための広報や救命講習の指導などの活動を行っております。その他にも、消防・防災フェアなどの活動を通じ、地域の方々と交流を持ち、活躍しております。現在は、20歳前半から50歳後半までの方々が在籍しております。

